

多治米学区まちづくり推進委員会

委員長 小林 賛雄

（問合せ先） 084-953-7342（多治米公民館）

事業内容

*は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- (1) 囲碁・将棋大会 (3月19日*)
- (2) 健康促進活動 (7月5日 カローリング大会*)
(3月27日 歩け歩け運動*)
- (3) 学区運動会 (9月*)
- (4) 防犯啓発活動 (7月 のぼり旗掲出 学区内)
- (5) 環境美化活動 (2月*)
- (6) 防火啓発活動 (12月 防火パトロール 学区内 160人)
- (7) 福祉活動 (10月・12月サロン活動 多治米公民館 40人, 1月 広報誌発行)
- (8) ふれあい広場 (10月*)
- (9) 子どもとのふれあい (通年 6回 多治米公民館 103人)
- (10) とんど (1月10日*)
- (11) 防災活動 (11月 防災訓練 各自治会町内会)
(12月9日 自主防災勉強会 多治米公民館 32人)
(3月20日 防災訓練 多治米小学校 25人)
- (12) コミュニティ育成 (通年 各自治会町内会)
- (13) 青少年健全育成 (2月 子ども110番の家マップ作製 学区内)
(3月 安全注意表示板設置 学区内)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業 (通年)



防災活動（自主防災勉強会）



子どもとのふれあい（たじめひろば）



福祉活動（多治米サロン）

成果

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施困難な事業も多かったが、コロナ対策を講じて行えた数少ない事業を通して、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動で連携を深めることができた。

課題

コロナ禍により行事が中止になる中でコミュニケーション不足となり、住民のつながりも希薄になってきている。各種団体の加入率低下からも、その存続や今後の事業運営が難しくなるなど重要課題となっている。

課題解決にむけて

コロナ禍で進んだデジタル化の流れもあり、各種団体加入の有無にかかわらず、行事の周知や情報共有できるように、学区でもデジタル化の整備を進める。

また、各種団体の加入率向上をめざすべく、魅力ある事業を計画し、人材育成等にもつながるよう各団体の支援に取り組み、相互のつながりを深めていきたい。

地域で 子どもたちの安全を 見守ります！ (青少年健全育成事業)

青少年健全育成事業として、「こども110番の家マップ」を作成し、多治米小学校児童の各家庭に配布、及び学区内に掲出しています。



学区内の通学路や危険個所に「とびだし注意！」などの注意喚起表示板を設置し、子どもたちの安全確保に務めています。